（別紙５）

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	すまいる

公表日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		整理整頓を常におこない 広さの確保を行っている。	過ごしやすい環境を提供
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4			指導後配置できている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		視覚的にわかりやすいようにしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清掃、整理整頓をこころがけている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		パーティションの利用などで対応している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		参加できないスタッフとも出勤時に共有	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者の方の意見等を大事にしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		スタッフ同士話しやすい環境をつくっている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者による評価を受けたことがないので今後検討したい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		法人内で研修を行っている	外部の研修も受けていけるようにしたい
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムを作成し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		ニーズを一番大事にしている。 子どもたちの意見を尊重して作成することを大事にしています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		スタッフで意見を出し、 ニーズをふまえて検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	4		支援計画は共有し支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日誌等をつけてい日々の様子をつけています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		行事などはスタッフで意見をだしている。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	2		この曜日はこれ。と決まっていたり継続しているもの多いため、もう少し変化もいれていけるようにしたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		子どもたちの日々の様子を大事に 集団がしんどい時に無理に参加させたりのないように支援をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		ミーティングをおこなっています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4		ミーティングをおこなっています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日誌をつけて様子等を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		４つの基本活動から、自分で 選択できるようにしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		日々の会話を大事に、こどもたちが意見を言いやすい関係づくりを心がけています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		4	対象児童がいない	今後、相談支援事業所などとも連携して関係機関とも連携できるようにしていきたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		地域の方や支援に関わってくださる方と 連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	2		不登校の子どもたちも多く、なかなか学校との連携が難しいが、行事予定表などを提供していただいています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4		就学前に利用していた保育所等との情報共有はできていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		卒業していった子どもたちの進路関係者のかたへの情報提供は適宜、保護者の方に確認後行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		4		今後検討し、研修は助言を受けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		子ども食堂での、地域のこどもたちと関わる機会をもっている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		協議会へ参加していけるようにしていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		日々いつでも連絡してもらえるように保護者と連絡とれようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		家族へむけての支援プログラムや研修を今後企画していきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		わかりやすい説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保護者との面談や聞き取りを行い、家庭での様子や困りごと、希望を丁寧に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	4		わかりやすい言葉表現をつかっている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		日々困りごとなどを連絡してもらえるように保護者と連絡とれようにしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2		兄弟で利用してる家庭も多い。保護者交流会を今後企画できるようにしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		適切に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		日々連絡をとり、子どもたちの様子をつたえている。連絡帳ソフトも利用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		情報提供等必要な際必ず保護者の同意をえています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		伝わりやすいように簡単な表現などで説明している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域の方に向けての行事は開催できていないが、地域の方との交流の機会を設けています	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアル化し、訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		服薬等ある児童の把握、状況の確認、変化があれば情報の提供を保護者にお願いしています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	対象児童がいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、事故防止や災害時の対応について職員間で共有している。安全意識の向上に努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4		緊急連絡先等カードの配布も行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		職員会議やミーティングの中でヒヤリハット事例を取り上げ、原因や背景を職員全体で検討している。具体的な再発防止策を検討する	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待を防止するため職員の研修機会を設けて適切な対応をとっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束は原則行わない支援を基本とし、やむを得ない場合の対応については職員会議や研修で共有している。	